

関係省庁と連携したASF侵入防止対策(取組例)①

- 2018年8月以降、アジアにおいてASF(アフリカ豚コレラ)の発生が急速に拡大
- 携帯品として持ち込まれた豚肉製品から、感染力のあるASFウイルスを分離
- 関係省庁による申合せを行い、**政府一体となってASFの侵入防止対策を実施**

アジアにおけるASFの発生状況



- ASF発生国から持ち込まれた携帯品83件から、ASFウイルスの遺伝子を検出(2019年11月29日現在)
- うち、2019年1月に中国から持ち込まれたソーセージ2件から感染力のあるASFウイルスを分離



豚肉ソーセージ

(北京から新千歳空港)



自家製餃子

(上海から羽田空港)



ソーセージ

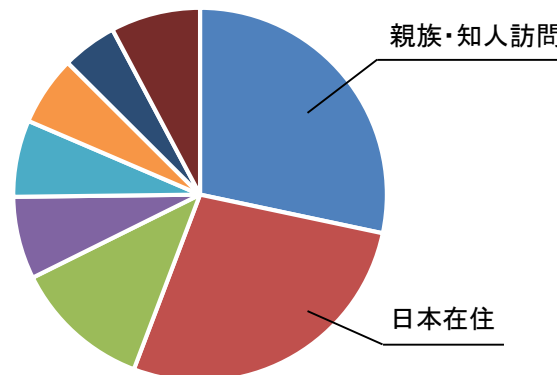
(上海から中部空港)



豚肉調整品

(ハノイから成田空港)

違反者(警告書発出対象者)の属性 (2019年12月8日時点)



発生国	発生数	飼養頭数
計(中国)	164件(148農場/村、7施設、8車両)(野生いのしし1か所)(22省、5自治区、4直轄市)	
(ベトナム)	5941件(5941農場/村)(58省、5直轄市)	
(モンゴル)	11件(11農場/村)(6県)	
(カンボジア)	13件(13農場/村)(5州)	
(香港)	3件(施設)※同一のと畜場における発生	
(北朝鮮)	1件(1農場/村)	
(ラオス)	141件(137農場/村、2施設)(野生いのしし2か所)(1都、14県)	
(ミャンマー)	4件(4農場/村)(1州)	
(フィリピン)	40件(40村)(1都、4州)	
(韓国)	55件(14農場)(野生いのしし41か所)(2道、1広域市)	
(東ティモール)	100件(100農場)(1県)	

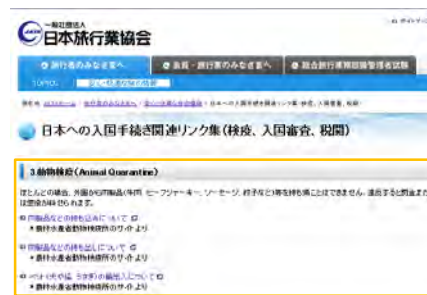
※ OIE報告等の情報を元に作成
発生日: OIE報告による発生が確認された日
飼養頭数: FAO統計(2017)による
※2019年8月23日より、中国における疫区解除地点を通常の発生地点と同様の表記としました。
また、発生件数をOIEへの報告件数に統一しました。

2019年12月8日現在

関係省庁と連携したASF侵入防止対策(取組例)②

1 広報活動の強化(持ち出させない取組)

➤ 大手オンライン旅行代理店、旅行関係団体を通じた情報発信



〔 中国国内向けブランドシートリップ(Trip.comグループ)のアプリ(予約者の8割が使用)、予約確認通知、WeChatで告知 〕

〔 日本旅行業協会のHPで肉製品の持込禁止を注意喚起 〕

〔 九州産交ツーリズムのHPに動物検疫所のバナー掲載 〕

➤ 民間サービスを活用した情報発信



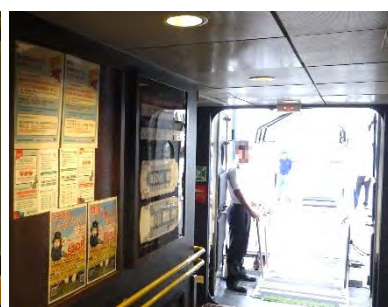
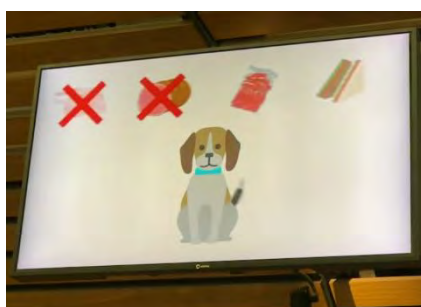
〔 中国人向け訪日ビザ同梱広告 〕

〔 ベトナム人向け日本情報サイト 〕

〔 海外メディア向けニュースリリース 〕

関係省庁と連携したASF侵入防止対策(取組例)③

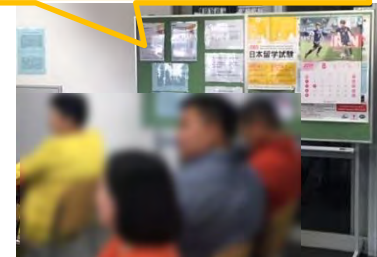
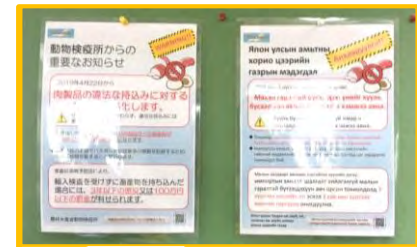
▶ 現地空港カウンターでの注意喚起、船内へのポスター掲示



〔 現地空港カウンターでの注意喚起 〕

〔 定期フェリーの船内ポスター 〕

▶ 在外公館や日本政府観光局を通じた現地SNSの配信、HPへの掲載、在外公館査証窓口におけるリーフレット掲示(中国、ベトナム、モンゴル、カンボジア等)



〔 在外公館SNS 〕

〔 日本政府観光局SNS 〕

〔 日本政府観光局HP 〕

〔 在外公館査証窓口 〕

関係省庁と連携したASF侵入防止対策(取組例)④

外国人技能実習生や受入農家への制度周知



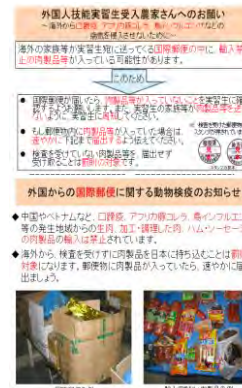
〔 外国人技能実習機構(OTIT) 〕



〔 国際研修協力機構(JITCO) 〕



〔 研修による周知 〕



〔 受入農家への周知 〕

その他の情報発信



〔 ポスター、デジタルサイネージ 〕



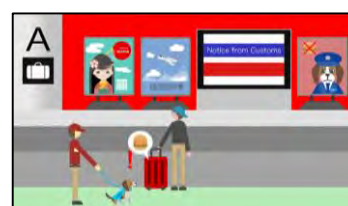
〔 メディアの活用 〕



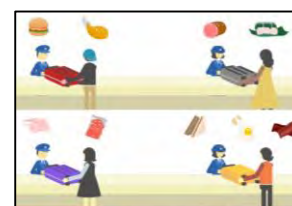
〔 首相官邸SNS 〕



〔 広報キャンペーン(日本養豚協会と連携) 〕



〔 動物検疫に関する多言語動画 〕



関係省庁と連携したASF侵入防止対策(取組例)⑤

2 水際での摘発強化(持ち込ませない取組)

➤ 検疫探知犬の活用、家畜防疫官による口頭質問



➤ 携帯品検査における税関との連携強化(違反者情報の共有、税関申告書様式の改正など) →違反者への対応厳格化後、逮捕者も数件出ている。



〔 逮捕者が所持していた畜産物の例 〕

1. 下記に掲げるものを持っていますか? はい いいえ

① 所産、産肉、保肉等の日本への持ち込みが禁止されているもの(2面1)を参照

② 肉製品、野菜、果物、動物等の日本への持ち込みが制限されているもの(2面2)を参照

③ 免税品又は減額品

④ 免税範囲(2面3)を参照を越える購入品・お土産品・贈答品など

⑤ 商業貨物・商品サンプル

⑥ 他人から預かったもの

※上記のいずれかで「はい」を選択した方は、2面に入国時に携帯して持ち込むものを記入してください。

〔 税関申告書様式の改正 (令和元年末から使用開始) 〕

関係省庁と連携したASF侵入防止対策(取組例)⑥

➤ 靴底消毒・車両消毒の実施、航空機や船舶から出される厨芥残渣の適切な処理を指導



〔 靴底消毒 〕

〔 車両消毒 〕

〔 厨芥残渣取卸しの立会い 〕

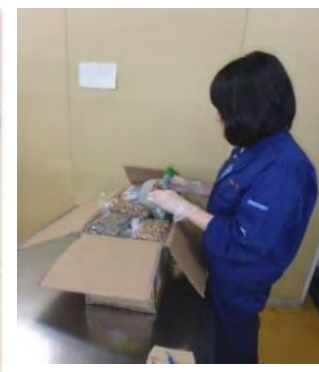
➤ 検疫専用廃棄ボックスの設置



➤ 国際郵便物の検疫強化



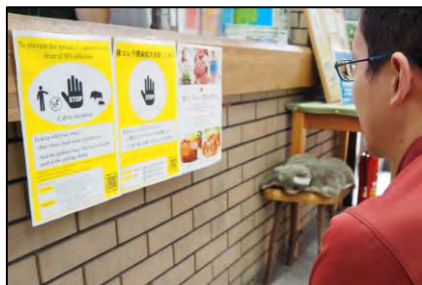
総務省を通じて、万国郵便連合加盟国 (192か国・地域) に対して、動物検疫制度を多言語で通知



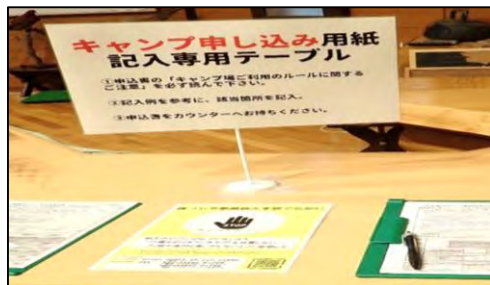
関係省庁と連携したASF侵入防止対策(取組例)⑦

3 農場へのウイルス侵入防止策の強化(農場に入れさせない)

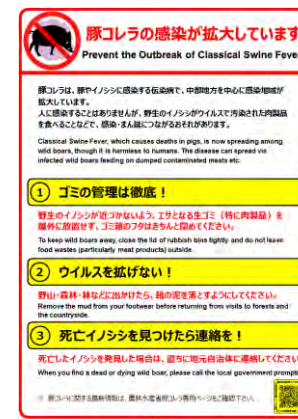
➤ 野外におけるゴミ放置の防止対策(啓発ポスター、リーフレットの掲示)



〔奥多摩ビジターセンター〕



〔日光湯元ビジターセンター〕



➤ 飼養衛生管理基準の遵守徹底



〔農場周囲への柵の設置〕



〔防鳥ネットの設置〕



〔畜舎周辺の整理整頓〕



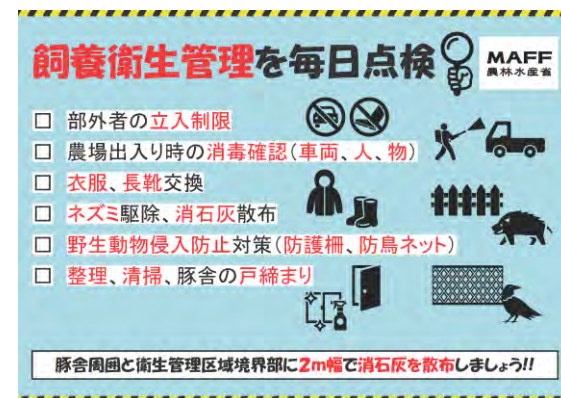
〔専用の衣服・靴〕



〔車両消毒〕



〔靴、手指の消毒〕



〔飼養衛生管理基準
点検ステッカーの配布〕